



概要

氏名

高津 明美

住所

熊本市中央区白山三丁目4-2

主な活動地

熊本県 等

特別賞

高津  
明美  
たかつ  
あけみ

ろうけつ染めを学ぶ	昭和四十三年	日展初入選
社。染色講師として勤務しながら、二十一歳からろうけつ染めの技法で作品の制作を始め、二十九歳で日展初入選。以降二十七回入選、特選を二回受賞しました。	昭和五十二年	光風会展工芸賞受賞
が国の工芸美術界の中で高い評価を受けています。	平成五年	日本現代工芸美術展現代工芸
高津氏の作品は雄大な阿蘇の自然を主なテーマとして「雲上の岳神」が四メートル四方の陶板じゅうつ染めの技法で作品の制作を始め、二十九歳で日展初入選。以降二十七回入選、特選を二回受賞しました。	平成十一年	熊本県文化懇話会新人賞受賞
し、阿蘇の四季を表情豊かに表現し、見る人に感銘を与えています。平成二十四年の一月には阿蘇くまもヒビ入り、「雲上の岳神」が四メートル四方の陶板じゅうつ染めの技法で作品の制作を始め、二十九歳で日展初入選。以降二十七回入選、特選を二回受賞しました。	平成十四年	日本現代工芸美術展本会員賞受賞
空港の国内線ターミナルビルの「ユーロ記念ヒビ入り」、到着ロビーに設置されました。	平成十七年	熊本県連合大会青年部優勝
さらに、高津氏は長く途絶えていた江戸期からの伝統の染物「天草更紗」を復元研究し、型友禅の技法を駆使しながら、手織りの木綿を使い、草木から絞り出した自然染料を使って、「高津明美の天草更紗」として、貴重な伝統文化を復興しました。現在、天草更紗業としての広がりが期待されます。	平成二十二年	第二回香梅アートワード
さらには、高津氏は、阿蘇くまもと空港国内線ターミナルビルリニューアル記念作品「雲上の岳神」設置	平成二十四年	日本現代工芸美術展審査員

## これまでの活動歴

高津明美氏は、短期大学美術デザイノ科在学中から染めを学び、卒業後、熊本県染色協同組合に入社。染色講師として勤務しながら、二十一歳からろうけつ染めの技法で作品の制作を始め、二十九歳で日展初入選。以降二十七回入選、特選を二回受賞しました。社。染色講師として勤務しながら、二十一歳からろうけつ染めを学び、卒業後、熊本県染色協同組合に入社。染色講師として勤務しながら、二十一歳からろうけつ染めの技法で作品の制作を始め、二十九歳で日展初入選。以降二十七回入選、特選を二回受賞しました。が国の工芸美術界の中で高い評価を受けています。高津氏の作品は雄大な阿蘇の自然を主なテーマとして「雲上の岳神」が四メートル四方の陶板じゅうつ染めの技法で作品の制作を始め、二十九歳で日展初入選。以降二十七回入選、特選を二回受賞しました。空港の国内線ターミナルビルの「ユーロ記念ヒビ入り」、到着ロビーに設置されました。

さらに、高津氏は長く途絶えていた江戸期からの伝統の染物「天草更紗」を復元研究し、型友禅の技法を駆使しながら、手織りの木綿を使い、草木から絞り出した自然染料を使って、「高津明美の天草更紗」として、貴重な伝統文化を復興しました。現在、天草更紗業としての広がりが期待されます。

の帶、着物の制作に励んでおり、将来、熊本の伝統産業としての広がりが期待されます。

このように、高津明美氏の意欲的な活動は熊本県の工芸美術の発展に大きく貢献するにせよ、県民全体に励みと希望を与えています。